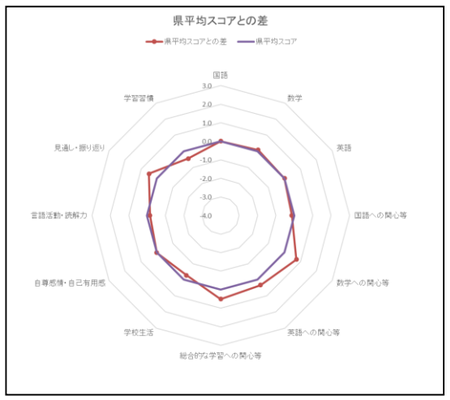
令和元年度　島根県学力調査結果及び分析・対策（松江市立義務教育学校八束学園後期課程）

（1）学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題（○：成果、●：課題）	対策
7年	国語	○選択肢のある問いで正答を選ぶことができる。 ●文章の構成を考えて書いたり、場面の展開や登場人物などの描写に注意して読むことが苦手である。	・読書を奨励し、良書に親しませ、語彙力を養う。 ・短作文や短文を書くことを授業で行うように努める。
	数学	○数学への関心は比較的高い。 ○無回答率が低い。 ●「図形」の領域での正答率が高い反面、「数と式」の領域での正答率が低い。 ●条件をもとに立式する問での正答率が低い。	・基本的な計算問題等を繰り返し学習できるように課題プリントを充実させていく。 ・長い文章を読み解くこと、要点をまとめること、言葉で説明することを授業の中に多く組み込んでいく。
	英語	○「読むこと」では長文の概要や要点を読みとる問題で、県平均を上回るものもあった。 ●対話の流れをふまえて適切な英文を書くことや、自分のことについてまとまった英文を書くことに課題が見られる。 ●複数の領域を統合して解答する問題の正答率が低い。	・授業の中で英問英答や会話練習を取り入れ、聞いたり話したりする練習を積み重ねる。 ・英語で自己表現する機会を増やし、英語を書くことへの抵抗感を減らす。 ・授業の最初に小テストを行い、基礎知識の定着を図る。
8年	国語	○話すことや相談することは、比較的得意である。 ●書くことが総じて不得手で、記述式で答えることや言葉を使って思考することが苦手である。	・読書の喜びを教え、良書に親しませ、語彙力を養う。 ・短作文や短文を書くことを、機会を捉えて授業で行うように努める。
	数学	○「文字式の計算」の問題は、基本が定着している。 ●「関数」の領域の正答率が低い。 ●数学的に説明する問題の正答率が低く、無解答率も高い。	・課題プリントや小テストで、基礎基本の定着を図る。 ・数学的な見方や処理を利用して説明したり問題を解くことのよさを、実感できるような場面を作る。
	英語	○英語を聞いて、情報を正確に聞き取る問題は県平均を上回っている。 ●「書くこと」の正答率が低く、正しく英文を書くことに課題があり、無回答も見られる。 ●「読むこと」については、情報を正確に読み取ることは概ねできているが、問題形式によって正答率が低くなる。	・基礎・基本の定着のため、小テスト等で復習の機会を細かく設定する。 ・授業の中で英問英答を取り入れ、英語での応答の仕方に慣れる。 ・英語を書く活動では、取り組みやすい活動レベルを設定し、英語を書くことへの抵抗感を減らしていく。

（２）各学年・各教科の調査結果チャート

7年

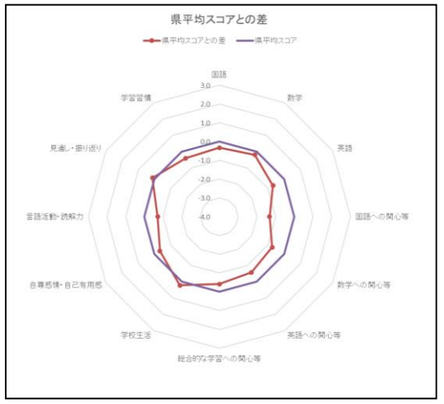


（参考）　平均正答率

		国語	数学	英語
7年生	本校	68	51	62
	松江市	69	52	64
	島根県	68	49	62

受検者数
7年生　40　人

8年



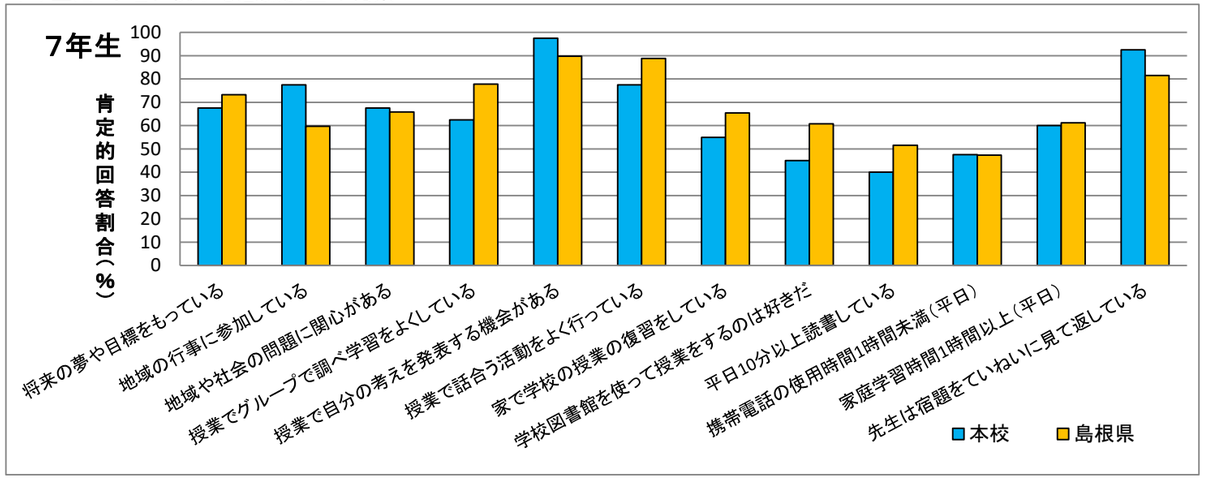
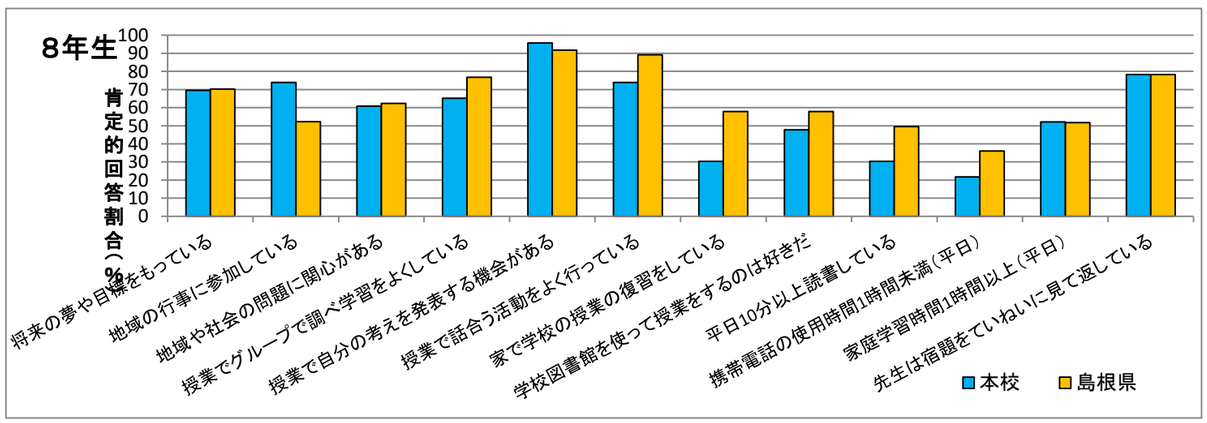
（参考）　平均正答率

		国語	数学	英語
8年生	本校	71	33	40
	松江市	77	40	54
	島根県	77	38	53

受検者数
8年生　23　人

各スコアの範囲は－2から+2までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

（3）生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題（○：成果、●：課題）	対策
7年	授業改善に関わる事項	○授業で自分の考えを発表する機会は、県平均より肯定的回答の割合が高い。 ●活動については肯定的であるが、学習内容の定着に繋がっていない傾向にある。	・授業の諸活動については、今後も継続して行う。経年度研究の成果であるユニバーサルデザインによる授業改善の取組も継続していく。 ・学習内容の定着に繋げるために、形成的テストや反復学習を行っていく必要がある。
	家庭学習に関わる事項	○「家庭学習時間１時間以上」という回答の割合が県平均より高い。「先生は宿題をていねいに見て返している」という回答が県平均より高い。 ●メディア接触時間が県平均と同程度の傾向にある。	・家庭学習習慣が定着している傾向にあるので、今後も継続して行う。 ・学習内容の定着に繋がる家庭学習を充実させていく必要がある。メディア接触時間の改善のために「学習・生活チャレンジ週間」を充実させる。
8年	授業改善に関わる事項	○授業で自分の考えを発表する機会は、県平均より肯定的回答の割合が高い。 ●活動については肯定的であるが、学習内容の定着に繋がっていない傾向にある。	・授業の諸活動については、今後も継続して行う。経年度研究の成果であるユニバーサルデザインによる授業改善の取組も継続していく。 ・学習内容の定着に繋げるために、形成的テストや反復学習を行っていく必要がある。
	家庭学習に関わる事項	○「家庭学習時間１時間以上」という回答の割合が県平均より高い。「先生は宿題をていねいに見て返している」という回答の割合が県平均より高い。 ●メディア接触時間が県平均より長い傾向にある。	・家庭学習習慣が定着している傾向にあるので、今後も継続して行う。 ・学習内容の定着に繋がる家庭学習を充実させていく必要がある。メディア接触時間の改善のために「学習・生活チャレンジ週間」を充実させる。

（4）生活・学習に関する意識調査の結果